

③		②	①
かたち	まんなる	しまったから	あき
	きいろ(い)	おかあさんと	
		はぐれて	

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしよに かかれて います。

① すずしい あきの よるです。子ぐまの くう

たは、とぼとぼと 山みちを あるいて いました。三日まえ、② くうたは みちに まよって

おかあさんと はぐれて しまいました。くうた はとつぜん ひとりぼっちに なって しまいました。

空を 見あげると、③ ぽっかりと きいろい まんなるの 月が ひかっています。

「おかあさん。」

くうたは、さみしく なって お月さまに よびかけました。すると へんじが かえって きたのです。

④	③	②	①
いえ	イ	キャッチボール	三人

「かいせつ」

(1)と(2)と(4)は文しょうのつぎのばしよにかかれて います。

(1) たかしは のりおと (2) グラウンドで キャッチボールを して あそんで います。そこへ (1) ゆたが やって きました。たかしと のりおは、キャッチボールを して いた 手を とめて いました。

「ゆうたも いっしよに あそぼうよ。」

けれども ゆうたは、

「いやだ。」

と いって、(4) いえへ かえって しまいました。

(3) □の まえで さそわれたのに ゆうたは ことわって いるので、「けれども」が 入ります。



③	②	①
五日まえ	おにいさんと しまったから はぐれて	山みち

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしょに かかれて います。

ふゆの さむい よるです。うさぎの ぴよん
こ子は、^①とぼとぼと ^②山みちを あるいて います。
^③五日まえ、^②ぴよん子は みちに ま
よって おにいさんと はぐれて しまいました。
ぴよん子は とつぜん ひとりぼっちに なった
のです。

空を 見あげると、ぽっかりと きいろい ま
んまるの 月が ひかっています。

「おにいさん。」

ぴよん子は、さみしく なって お月さまに
よびかけました。すると へんじが かえって
きたのです。

③	②	①		
小学校の 校てい	なわとび	かずや	ゆう子	みな子

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしよに かかれて います。

① みな子は ゆう子と ②・③ 小学校の 校でい
な
わとびを して あそんで います。 そこへ ① か
ずやが やって きました。

みな子と ゆう子は、 なわとびを しながら
 いいました。

「かずやも いっしよに あそぼうよ。」

けれども
かずやは、

「いやだ。」

と
い
っ
て、
い
え
へ
か
え
っ
て
し
ま
い
ま
し
た。



③	②	①
ともだち	ウ	きたの くに

「かいせつ」

①と③は文しょうのつぎのばしょにかかれて
います。

①
きたのくにに王さまがいました。王さまは
とてもお金もちなので、ほしいものは
すべて手に入りました。

しかし王さまはおしろの中にいつも
ひとりぼっちでいるので、ちっともたのしく
ありませんでした。

ある日、王さまはつぶやきました。

「ともだちがほしいなあ。」

ほかのものはいくらでも手に入るのですが、
③
ともだちだけは金でかうことができま
せん。

②
□のまえはよいことで、□のあと
はよくないことがかいてあるので、「し
かし」が入ります。



③	②	①
ともだち	いつも おしろの 中に ひとりぼっちで いるから	女王さまは みなみの しまに すんで いて、 お金を たくさん もって いる人

「かいせつ」

文しょうの つぎの ばしょに かかれて います。

① みなみの しまに 女王さまが いました。女王さまは お金を とても たくさん もっているの、ほしい ものは すべて 手に 入りました。

② しかし、女王さまは いつも おしろの 中に ひとりぼっちで いるので、ちっとも たのしく ありませんでした。

ある日、女王さまは つぶやきました。

③ 「ともだちが ほしいわ。」

ほかのものは いくらでも 手に 入るのですが、ともだちだけは お金で かう ことが できません。